

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年2月10日
【四半期会計期間】	第62期第3四半期（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）
【会社名】	株式会社オーテック
【英訳名】	OTEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 橋田 正忠
【本店の所在の場所】	東京都江東区東陽二丁目4番39号 （同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区東陽二丁目4番2号（本社）
【電話番号】	03（3699）0411
【事務連絡者氏名】	取締役管理統括担当 二瓶 孝男
【縦覧に供する場所】	株式会社オーテック 管材事業本部大阪支店 （大阪府大阪市西区立売堀五丁目8番8号） 株式会社オーテック システム事業本部横浜支店 （神奈川県横浜市西区高島二丁目5番12号） 株式会社オーテック システム事業本部中部支店 （愛知県名古屋市瑞穂区神穂町二丁目2番） 株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第3四半期連結 累計期間	第62期 第3四半期連結 累計期間	第61期 第3四半期連結 会計期間	第62期 第3四半期連結 会計期間	第61期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	12,556,539	11,561,068	4,541,059	3,990,185	18,216,783
経常利益(千円)	517,048	278,482	218,040	181,625	984,961
四半期(当期)純利益(千円)	253,745	105,402	104,809	92,617	519,883
純資産額(千円)	-	-	7,858,402	8,152,780	8,107,088
総資産額(千円)	-	-	16,330,640	16,028,594	15,919,408
1株当たり純資産額(円)	-	-	1,368.08	1,417.51	1,411.67
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	44.72	18.59	18.48	16.33	91.64
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	47.5	50.2	50.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	541,822	926,876	-	-	744,377
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	972,627	600,680	-	-	107,657
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,762	60,969	-	-	150,550
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	2,103,493	3,404,870	3,017,705
従業員数(人)	-	-	396	399	390

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載して
おりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	399
---------	-----

（注）従業員数は就業人員（嘱託を含み、当社グループからグループ外への出向者及び常用パートを除いております。）であり、臨時雇用者数（常用パートを含み、人材派遣会社からの派遣社員は除いております。）の総数は、従業員数の100分の10未満であるため記載を省略しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	369
---------	-----

（注）従業員数は就業人員（嘱託を含み、当社から社外への出向者及び常用パートを除いております。）であり、臨時雇用者数（常用パートを含み、人材派遣会社からの派遣社員は除いております。）の総数は、従業員数の100分の10未満であるため記載を省略しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

1. 商品販売の状況

(1) 商品仕入実績

品目	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	前年同四半期比(%)
管工機材販売事業		
管・継手類(千円)	600,036	84.6
弁類(千円)	461,645	95.4
特機類(千円)	199,432	90.0
その他商品(千円)	384,453	83.0
小計(千円)	1,645,567	87.7
工事業		
自動制御機器(千円)	34,546	97.1
環境機器販売事業		
環境関連機器類(千円)	58,475	45.6
合計(千円)	1,738,589	85.2

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は仕入価格であります。

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品販売方法

当社グループは、設備工事業者向けと二次卸売業者向けの2つの販売経路をもち、その売上高構成比率は下記のとおりであります。

品目	販売経路	売上高構成比率(%)
		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
管・継手類 弁類 特機類 その他		68.3
		31.7
合計		100.0

(3) 商品販売実績

品目	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	前年同四半期比(%)
管工機材販売事業		
管・継手類(千円)	706,732	83.3
弁類(千円)	525,652	92.6
特機類(千円)	232,679	88.1
その他商品(千円)	449,845	83.1
小計(千円)	1,914,910	86.2
工事業		
自動制御機器(千円)	44,272	88.2
環境機器販売事業		
環境関連機器類(千円)	92,239	55.2
合計(千円)	2,051,422	84.1

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間は、商品売上高及び完成工事高の合計に対する割合が100分の10以上の相手先はありません。

2. 工事の状況

(1) 受注工事高の状況

受注工事高、完成工事高、繰越工事高

期別	区分	期首 繰越工事高 (千円)	期中 受注工事高 (千円)	計 (千円)	期中 完成工事高 (千円)	期末 繰越工事高 (千円)
前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	新設工事	2,591,070	4,368,108	6,959,178	2,242,999	4,716,179
	既設工事	717,419	3,012,118	3,729,538	2,208,237	1,521,301
	保守工事	72,031	1,460,489	1,532,520	1,124,024	408,496
	合計	3,380,520	8,840,716	12,221,237	5,575,261	6,645,976
当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	新設工事	3,723,022	2,589,853	6,312,875	2,435,652	3,877,223
	既設工事	600,338	2,867,470	3,467,809	1,913,329	1,554,479
	保守工事	69,731	1,437,737	1,507,468	1,108,419	399,049
	合計	4,393,092	6,895,061	11,288,153	5,457,401	5,830,751
前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	新設工事	2,591,070	4,852,017	7,443,087	3,720,065	3,723,022
	既設工事	717,419	3,700,462	4,417,882	3,817,543	600,338
	保守工事	72,031	1,521,272	1,593,303	1,523,572	69,731
	合計	3,380,520	10,073,752	13,454,273	9,061,180	4,393,092

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前期以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額に増減がある場合は、期中受注工事高にその増減額が含まれております。従いまして、期中完成工事高にもかかる増減額が含まれております。

3. 期末繰越工事高は(期首繰越工事高+期中受注工事高-期中完成工事高)に一致しております。

受注の方法

工事等の受注の方法は、特命と競争に大別されます。

期別	区分	特命(%)	競争(%)	計(%)
前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	新設工事	100.0	-	100.0
	既設工事	100.0	-	100.0
	保守工事	52.3	47.7	100.0
当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	新設工事	100.0	-	100.0
	既設工事	100.0	-	100.0
	保守工事	50.1	49.9	100.0

(注) 百分比は、請負金額比であります。

(2) 完成工事高

期別	区分	官公庁(千円)	民間(千円)	合計(千円)
前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	新設工事	205,140	636,311	841,451
	既設工事	153,225	722,214	875,439
	保守工事	193,195	191,974	385,170
	計	551,561	1,550,500	2,102,061
当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	新設工事	176,249	475,532	651,781
	既設工事	432,674	470,260	902,935
	保守工事	173,597	210,448	384,045
	計	782,521	1,156,241	1,938,762

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 完成工事のうち、主なものは次のとおりであります。

前第3四半期連結会計期間のうち、請負金額5千万円以上の主なもの

須賀工業株式会社 住友生命清澄パークビル計装工事

三建設備工業株式会社 群馬大学小型重粒子線計装工事

株式会社ヤマト 伊勢崎東部ショッピング計装工事

大成温調株式会社 日産自動車Dプロジェクト計装工事

株式会社ユアテック ララガーデン川口新築計装工事

当第3四半期連結会計期間のうち、請負金額4千万円以上の主なもの

株式会社朝日工業社 小野薬品フジヤマ第5工場改修計装工事

櫻井工業株式会社 東京都多摩産業支援拠点(仮称)(20)新築及び改修空調設備計装工事

株式会社テクノ菱和 南飛騨総合健康アリーナ(仮称)建設機械設備計装工事

新菱冷熱工業株式会社 日本トムソン株式会社 岐阜製作所土岐工場第1期計装工事

4. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間は、商品売上高及び完成工事高の合計に対する割合が100分の10以上の相手先はありません。

(3) 繰越工事高(平成21年12月31日現在)

区分	官公庁(千円)	民間(千円)	合計(千円)
新設工事	2,418,723	1,458,500	3,877,223
既設工事	902,571	651,908	1,554,479
保守工事	271,626	127,422	399,049
計	3,592,920	2,237,830	5,830,751

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 繰越工事のうち、請負金額が5千万円以上の主なものは、次のとおりであります。

東海サーモエンジニアリング株式会社	浜松ホトニクス株式会社豊岡製作所 第2棟新築計装工事	平成22年2月完成予定
三機工業株式会社	北洋大通センター新築計装工事	平成22年3月完成予定
日本コムシス株式会社	(仮称)小名木川貨物駅跡地商業施設 [街区]計装工事	平成22年5月完成予定
高砂熱学工業株式会社	PFI参議院議員会館建替計装工事	平成22年6月完成予定
株式会社朝日工業社	鶴見駅東口地区第一種市街地再開発 事業特定業務代行建設計装工事	平成22年9月完成予定

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに決定又は締結した経営上の重要な契約等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間における我が国経済は、政府の景気刺激策やアジアを中心とした輸出の増加により、一部の業種に持ち直しの兆しは見られたものの、民間設備投資は依然低調に推移し、雇用情勢や所得環境の悪化により消費は低迷しデフレが進行するなど、景気は厳しい状況で推移しております。

当社グループの事業に関連する建設業界は、民間設備投資の減少や公共投資の抑制、住宅着工数の低迷など、厳しい状況が続いております。

このような経済環境下にあります、当社グループは、積極的な営業活動を展開し、受注拡大と利益確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は39億90百万円（前年同四半期比12.1%減）となりました。また、利益面につきましては、売上高の減少等により、営業利益は1億72百万円（同16.3%減）、経常利益は1億81百万円（同16.7%減）、四半期純利益は92百万円（同11.6%減）となりました。

なお、当社グループの工事業における売上高は、通常の営業形態として第4四半期に完成する工事の割合が大きく、業績には季節の変動があります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

管工機材販売事業につきましては、民間設備投資減少による価格競争の激化等により、売上高は19億14百万円（前年同四半期比13.8%減）となり、営業損失は28百万円（前年同四半期は営業利益17百万円）となりました。

工事業につきましては、新設工事の売上高が減少したことにより、売上高は19億83百万円（前年同四半期比7.9%減）となりましたが、工事採算性の改善等により、営業利益は2億3百万円（同11.2%増）となりました。

また、工事業における受注工事高は、16億39百万円（同14.2%減）となりました。

環境機器販売事業につきましては、売上高は92百万円（同44.8%減）となり、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業利益6百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末と比べ1億22百万円増加し、34億4百万円（前年同四半期は21億3百万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3億13百万円（前年同四半期比307.4%増）となりました。収入の主な要因といたしましては、税金等調整前四半期純利益1億85百万円、仕入債務の増加額8億40百万円及び未成工事受入金の増加額3億11百万円等であり、支出の主な要因といたしましては、売上債権の増加額3億76百万円及びたな卸資産の増加額5億99百万円等であります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億26百万円（前年同四半期比68.7%減）となりました。支出の主な要因といたしましては、定期預金の預入による支出2億2百万円等であります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は35百万円（前年同四半期比49.1%増）となりました。収入の主な要因といたしましては、短期借入れによる収入2億15百万円であり、支出の主な要因といたしましては、短期借入金の返済による支出1億75百万円等であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した設備の新設、売却除却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成22年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,700,000	5,700,000	ジャスダック証券取引所	単元株式数 1,000株
計	5,700,000	5,700,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年10月1日～ 平成21年12月31日		5,700		599,400		525,000

(5)【大株主の状況】

平成21年12月31日現在の株主名簿を確認したところ、当第3四半期会計期間において、大株主の異動はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,000	-	単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,683,000	5,683	同上
単元未満株式	普通株式 6,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	5,700,000	-	-
総株主の議決権	-	5,683	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式262株が含まれております。

【自己株式等】

平成21年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社 オーテック	東京都江東区東陽 二丁目4番39号	11,000	-	11,000	0.19
計	-	11,000	-	11,000	0.19

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	484	555	660	665	662	661	665	663	640
最低(円)	425	434	540	608	620	631	585	620	572

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,115,801	3,222,053
受取手形及び売掛金	2, 4 4,412,478	2 5,483,080
営業未収入金	1,367,563	1,921,943
有価証券	20,555	20,533
商品	300,063	351,665
未成工事支出金	3 2,141,584	1,207,348
原材料及び貯蔵品	27,629	12,872
繰延税金資産	90,196	148,605
その他	106,025	124,057
貸倒引当金	21,111	9,222
流動資産合計	12,560,788	12,482,937
固定資産		
有形固定資産	1 1,770,831	1 1,777,570
無形固定資産	51,695	57,029
投資その他の資産		
投資有価証券	589,244	575,776
その他	1,073,986	1,031,774
貸倒引当金	17,953	5,681
投資その他の資産合計	1,645,278	1,601,870
固定資産合計	3,467,805	3,436,470
資産合計	16,028,594	15,919,408

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,948,530	4,761,939
短期借入金	1,325,790	1,176,020
未払法人税等	62,455	283,943
未成工事受入金	632,863	618,839
賞与引当金	154,688	234,149
役員賞与引当金	22,395	31,860
完成工事補償引当金	13,270	15,740
工事損失引当金	7,300	14,000
その他	269,522	242,098
流動負債合計	7,436,815	7,378,589
固定負債		
繰延税金負債	84,535	82,880
再評価に係る繰延税金負債	150,987	150,987
退職給付引当金	-	721
役員退職慰労引当金	144,487	129,615
負ののれん	3,886	6,218
その他	55,100	63,307
固定負債合計	438,997	433,729
負債合計	7,875,813	7,812,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	599,400	599,400
資本剰余金	525,000	525,000
利益剰余金	7,253,183	7,221,734
自己株式	7,070	7,068
株主資本合計	8,370,512	8,339,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,926	53,260
土地再評価差額金	386,464	386,464
評価・換算差額等合計	331,537	333,203
少数株主持分	113,805	101,226
純資産合計	8,152,780	8,107,088
負債純資産合計	16,028,594	15,919,408

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2 12,556,539	2 11,561,068
売上原価	10,222,430	9,469,096
売上総利益	2,334,108	2,091,971
販売費及び一般管理費	1 1,859,454	1 1,850,345
営業利益	474,654	241,625
営業外収益		
受取配当金	13,079	13,172
受取賃貸料	21,367	20,005
持分法による投資利益	5,429	2,494
その他	27,901	21,529
営業外収益合計	67,778	57,201
営業外費用		
支払利息	16,793	15,203
その他	8,591	5,141
営業外費用合計	25,384	20,344
経常利益	517,048	278,482
特別利益		
固定資産売却益	-	53
投資有価証券売却益	-	1,965
貸倒引当金戻入額	11,271	-
特別利益合計	11,271	2,018
特別損失		
固定資産売却損	2,239	1,263
固定資産除却損	1,136	1,080
投資有価証券評価損	2,070	5,347
会員権評価損	7,442	570
特別損失合計	12,889	8,260
税金等調整前四半期純利益	515,430	272,241
法人税、住民税及び事業税	198,780	98,010
法人税等調整額	58,183	55,011
法人税等合計	256,964	153,022
少数株主利益	4,721	13,816
四半期純利益	253,745	105,402

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2 4,541,059	2 3,990,185
売上原価	3,724,468	3,210,187
売上総利益	816,590	779,998
販売費及び一般管理費	1 610,106	1 607,242
営業利益	206,484	172,755
営業外収益		
受取配当金	3,940	4,000
受取賃貸料	7,779	6,652
その他	8,208	6,200
営業外収益合計	19,929	16,853
営業外費用		
支払利息	5,499	4,801
持分法による投資損失	565	1,899
その他	2,307	1,283
営業外費用合計	8,372	7,983
経常利益	218,040	181,625
特別利益		
固定資産売却益	-	35
投資有価証券売却益	-	1,965
貸倒引当金戻入額	-	8,482
特別利益合計	-	10,484
特別損失		
固定資産売却損	1,367	503
固定資産除却損	177	-
投資有価証券評価損	240	5,347
会員権評価損	5,292	570
特別損失合計	7,078	6,420
税金等調整前四半期純利益	210,962	185,688
法人税、住民税及び事業税	46,780	37,422
法人税等調整額	57,155	55,055
法人税等合計	103,936	92,478
少数株主利益	2,216	592
四半期純利益	104,809	92,617

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	515,430	272,241
減価償却費	54,017	69,223
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,796	24,160
賞与引当金の増減額(は減少)	53,506	79,461
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,620	9,465
完成工事補償引当金の増減額(は減少)	9,280	2,470
工事損失引当金の増減額(は減少)	19,700	6,700
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,088	17,921
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12,922	14,872
受取利息及び受取配当金	19,561	18,519
支払利息	16,793	15,203
投資有価証券評価損益(は益)	2,070	5,347
会員権評価損	7,442	-
持分法による投資損益(は益)	5,429	2,494
売上債権の増減額(は増加)	1,616,040	1,613,168
たな卸資産の増減額(は増加)	1,346,469	897,435
仕入債務の増減額(は減少)	198,407	186,591
未成工事受入金の増減額(は減少)	609,649	14,024
未払消費税等の増減額(は減少)	44,715	-
その他の流動負債の増減額(は減少)	-	53,065
その他	36,180	9,459
小計	1,084,164	1,242,889
利息及び配当金の受取額	19,102	19,118
利息の支払額	15,837	14,908
法人税等の支払額	545,606	320,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	541,822	926,876
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	100,000
有価証券の売却による収入	-	100,000
定期預金の預入による支出	1,129,768	1,702,233
定期預金の払戻による収入	220,400	1,191,629
有形固定資産の取得による支出	47,498	60,561
その他	15,761	29,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	972,627	600,680
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	735,000	690,000
短期借入金の返済による支出	580,000	540,000
配当金の支払額	147,772	73,731
その他	4,465	15,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,762	60,969
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	428,042	387,165
現金及び現金同等物の期首残高	2,531,535	3,017,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,103,493	3,404,870

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更</p> <p>請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。</p> <p>なお、これによる損益に与える影響はありません。</p>

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)	
1. 営業活動によるキャッシュ・フローの「会員権評価損」(570千円)、「未払消費税等の増減額(は減少)」(17,561千円)は、当第3四半期連結累計期間において、金額的重要性が乏しくなったため「その他」に含めて表示しております。	
なお、()内の金額は、当第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれている金額であります。	
2. 営業活動によるキャッシュ・フローの「その他の流動負債の増減額(は減少)」については、前第3四半期連結累計期間まで「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増したため区分掲記しております。	
なお、前第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれている「その他の流動負債の増減額(は減少)」は5,245千円であります。	

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1. たな卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。 また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 1,043,602千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 1,005,009千円
2 受取手形裏書譲渡高 120,616千円	2 受取手形裏書譲渡高 47,918千円
3 損失が見込まれる工事契約に係るたな卸資産と工事損失引当金は、相殺せずに両建てで表示しております。損失の発生が見込まれる工事契約に係るたな卸資産のうち、工事損失引当金に対応する額は7,300千円(全て未成工事支出金)であります。	
4 四半期末日満期手形 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。 受取手形 167,123千円 支払手形 462,252千円	4

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 従業員給与 654,496千円 賞与引当金繰入額 80,712 役員賞与引当金繰入額 22,860 退職給付費用 21,564 役員退職慰労引当金繰入額 15,147	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 従業員給与 654,230千円 賞与引当金繰入額 62,041 役員賞与引当金繰入額 22,395 退職給付費用 39,182 役員退職慰労引当金繰入額 14,872 貸倒引当金繰入額 24,160
2 当社グループの売上高は、通常の営業形態として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、業績には季節的変動があります。	2 同左

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 従業員給与 213,785千円 賞与引当金繰入額 65,971 役員賞与引当金繰入額 7,620 退職給付費用 6,403 役員退職慰労引当金繰入額 5,272	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。 従業員給与 217,636千円 賞与引当金繰入額 52,427 役員賞与引当金繰入額 7,465 退職給付費用 15,168 役員退職慰労引当金繰入額 4,882
2 当社グループの売上高は、通常の営業形態として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、業績には季節的変動があります。	2 同左

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) (千円)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在) (千円)
現金及び預金勘定 3,198,508 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 1,115,524 マネー・マネージメント・ファンド 20,508 現金及び現金同等物 2,103,493	現金及び預金勘定 4,115,801 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 731,475 マネー・マネージメント・ファンド 20,545 現金及び現金同等物 3,404,870

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 5,700,000株

2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 28,805株

3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。

4. 配当金支払額に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月25日 定時株主総会	普通株式	73,953	13	平成21年3月31日	平成21年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)

	管工機材販売 事業(千円)	工事業 業(千円)	環境機器販売 事業(千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対す る売上高	2,221,817	2,152,269	166,972	4,541,059	-	4,541,059
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	382	-	-	382	(382)	-
計	2,222,199	2,152,269	166,972	4,541,441	(382)	4,541,059
営業損益	17,174	182,860	6,432	206,468	16	206,484

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

	管工機材販売 事業(千円)	工事業 業(千円)	環境機器販売 事業(千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対す る売上高	1,914,910	1,983,035	92,239	3,990,185	-	3,990,185
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	425	-	-	425	(425)	-
計	1,915,336	1,983,035	92,239	3,990,611	(425)	3,990,185
営業損益	28,731	203,342	1,882	172,729	26	172,755

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	管工機材販売 事業（千円）	工事事業 （千円）	環境機器販売 事業（千円）	計（千円）	消去又は全社 （千円）	連結（千円）
売上高						
（1）外部顧客に対す る売上高	6,288,893	5,714,690	552,955	12,556,539	-	12,556,539
（2）セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,126	-	-	1,126	(1,126)	-
計	6,290,019	5,714,690	552,955	12,557,665	(1,126)	12,556,539
営業損益	4,181	441,934	28,534	474,650	3	474,654

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	管工機材販売 事業（千円）	工事事業 （千円）	環境機器販売 事業（千円）	計（千円）	消去又は全社 （千円）	連結（千円）
売上高						
（1）外部顧客に対す る売上高	5,620,383	5,583,734	356,950	11,561,068	-	11,561,068
（2）セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,202	-	-	1,202	(1,202)	-
計	5,621,586	5,583,734	356,950	11,562,271	(1,202)	11,561,068
営業損益	77,229	309,989	8,883	241,643	(17)	241,625

（注）1．事業区分の方法

事業区分は、製品系列及び販売方法の類似性並びに事業管理体制を考慮して区分しております。

2．各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
管工機材販売事業	鋼管、継手、バルブ、衛生陶器、住設機器類
工事事業	計装工事、電気工事、メンテナンス工事、空調自動制御機器
環境機器販売事業	小型貫流蒸気ボイラー、R I 水分密度測定器、水処理装置、環境関連機器類

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）
海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載は省略しております。

（有価証券関係）

当第3四半期連結会計期間末（平成21年12月31日）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

（デリバティブ取引関係）

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

当社グループはデリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

（ストック・オプション等関係）

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 1,417.51円	1株当たり純資産額 1,411.67円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 44.72円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 18.59円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
四半期純利益(千円)	253,745	105,402
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	253,745	105,402
期中平均株式数(株)	5,673,484	5,671,196

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 18.48円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 16.33円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
四半期純利益(千円)	104,809	92,617
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	104,809	92,617
期中平均株式数(株)	5,671,743	5,671,195

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

当四半期連結累計期間におけるリース取引残高は、前連結会計年度末と比較して著しい変動がありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月12日

株式会社オーテック
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 小川 幸伸 印

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 大黒 英史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーテックの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーテック及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 2月10日

株式会社オーテック
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 小川 幸伸 印

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 大黒 英史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーテックの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーテック及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。